夢はでっかく　根は深く

「学校長だより　No. 22」　　平成28年10月27日　倉敷市立柳井原小学校

修学旅行：6年生　　１０月１８日（火）１９日（水）

待ちに待った修学旅行。雨が心配されましたが，２日間ともとてもよい天候でした。日頃の行いがいいのかな。

７時１０分，３人共元気に，新倉敷駅集合。船穂小学校の友達と，京都・奈良・大阪方面に旅立ちました。

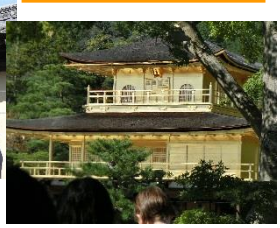
１日目は，二条城→映画村→金閣寺→清水寺へ。２日目は，奈良公園・東大寺→大阪城→海遊館を観光しました。３人は，マナーや社会のルールをきちんと守り，船穂小学校の友達とも大いに交流を深めました。小学校生活一番の思い出に残る旅行ができたのではないかと思います。

出発式：早く行きたいというはやる気持ちを抑えながら、覚えたことをしっかり言いました。

新幹線の車中で

二条城の正門

輝く「金閣寺」



金閣寺：見た瞬間「あっ、これが金閣寺の舎利殿だ。」と分かりました。青空の下、金色に輝いてとても美しかったです。

清水寺：清水寺の参道は、お店も人もいっぱい。迷いました。清水の舞台からの眺めはすごかったです。

映画村：グループ行動をしました。からくり屋敷では、みんなと協力して何とか脱出しました。

大仏殿：大仏には平和を願いためや人々を救うために、いろいろなものがあった。手に水かきや百ごうと呼ばれるものがあったことを知りました。

海遊館：世界中の海が、次から次へと広がっていました。多くの魚を、歩きながら楽しく見ることができました。

藤澤先生より

修学旅行に向けての準備もばっちりでした。船小との友達とも仲良く過ごすことができました。彩さんは，18 日が誕生日で，ろ組のみんなからサプライズの歌のプレゼントがありました。

みんながめあてを守れた，思いでいっぱいの修学旅行でした。

自分らしく生きる：高学年　　１０月２１日（金）

「LGBT」「セクシャルマイノリティー」「性的少数者」　この言葉を耳にしたことはあるでしょうか。

性別は「男」と「女」の２つに分けがちです。でも，「身体の性」に「心の性」が受け入れられず，またその気持ちを社会から理解されずに悩んでいる人がいます。L（レズビアン）G（ゲイ）B（バイセクシャル）T（トランスジェンダー）の人は，日本人全体の約６％（１６人に１人）です。テレビ等で目にすることが多くなったといっても，６％というのは驚きの数字だと思います。**「カミングアウト（自分のことを話すこと）」**していないので，わたし達は，ごくわずかだと思っているのです。多くの方が，周囲の無理解からカミングアウトできずに，悩んでいる実態が想像できます。

高学年の児童が，「多様性を認め合うこと」そして「自分らしさを大切にすること」をめあてに，お２人のトランスジェンダーの方をお招きして学習しました。

（H２８，１０，２２付　　山陽新聞から）

多様な性認め合う学校に

倉敷市教委

10小中でＬＧＢＴ研究授業開始

柳井原小では意見交換

倉敷市教委は、児童生徒に同性愛や性同一性障害など性的少数者（ＬＧＢＴ）への理解を深めてもらおうと、今秋から市内10小中学校で研究授業に乗り出した。柳井原小（同市船穂町柳井原）では21日、ＬＧＢＴの自助グループ「プラウド岡山」メンバーの20代学生2人を招き、児童が多様な性を認め合う学校づくりについて考えた。（萩原聡）

授業は市教委の人権教育課まれつきの性に違和感を持つ題研究の一環。文部科学省がトランスジェンダーの学生2昨年4月、ＬＧＢＴの子ども人。複式学級で学ぶ5、6年への配慮を求める通知を全国計7人が学生を交えて2班にの小中高校に出しており、市分かれて意見交換した。児童教委は２０１６年度の研究テは9月以降、5回にわたり、ーマに「性の多様性を認め合「男らしさ・女らしさ」にとう児童生徒の育成」を選定。らわれない性の多様性などに研究委員となっている6小学ついて学習しており、今回は校、4中学校の教員10人が、性的少数者が学校生活で困るプラウド岡山のメンバーに意制服やトイレなどの問題を取見を聞きながら子どもたちへり上げた。の教え方を探っている。

学生は「性別で靴の色や制柳井原小を訪れたのは、生服が決められていて嫌だった」「男子トイレに女の人みたいな人がいたらどう思う」などと声を掛けながら、児童の話し合いをサポート。全ての人が自分らしく生活できる学校にするため、児童からは「（男女の）イメージを広げて友達になればいい」といった意見が出た。

授業を担当する藤澤隆教諭（40）は「子どもたちは同じ目線で話し、ＬＧＢＴを特別な人ではなく個性と思えたようだ」、5年小林萌衣さん（10）は「理解し合うことが大切と感じた。相手の気持ちを考えて行動したい」と話していた。

LGBTに関する研究校とテーマ

	校名	テーマ
小学校	倉敷東	一人ひとりの個性について考えよう
	連島北	誰もが生活しやすくするには
	第一福田	いろいろな性について考えよう
	郷内	自分らしさを大切に
	穂井田	性別について考えよう
	柳井原	じぶんらしさを大切に～多様性を認め合う社会へ～
中学校	南	性情報～LGBTについて～
	連島南	性の多様性を認め合う生徒の育成～誰もが自分らしく生きるために必要なこと～
	郷内	カミングアウトレターズ
	船穂	自分らしく生きるために～性の多様性について学び、考え、伝えよう～

LGBTへの理解を深めるため、プラウド岡山メンバーの学生2人（手前2人）を招いて行われた柳井原小の研究授業

○　ぼく達には，男性と女性の２つの性があります。しかし，自分の性が受け入れられずに　悩んでいる人がいることを知りました。

トランスジェンダーの２人の方に会った時，正直に「あれっ・・・」「男の人だと思うけど，どうかな」と思いました。でも，質問をしたり話しをしたりしていくうちに，どんどん仲よくなってきました。

２人の方が「自分らしく生きていく」という言葉を何回も言われました。今日勉強で，いろんな方のことをまず知ることが大切なことを知りました。

○　今日，人権の授業をしました。トランスジェンダーの方がゲストでこられて，大切なことがよく分かりました。困ることを聞いてみた時，トランスジェンダーのことを知っていてくれないと，相手の視線が冷たかったり言葉で傷ついたりすることがあることが分かりました。

前に学んだように，私は一人の人として，相手を理解しあって行動することが大切だと思いました。自分にできることをもっと探して，偏見のない世界にしていきたいと思いました。

学校公開　　１０月２８日（金）

２８日（金）は**学校公開日**になっています。「柳小フェスティバル」でお店を出します。地域の方もご招待しています。ぜひ，子ども達が工夫を凝らしたお店を，ご体験ください。

１年生（イチネン GO）　　２年生（どうぶつパクパク　～えさ　どうぞ～）

３・４年生（チャレンジ！ゲームランド）　　５・６年生（柳笑点）